

1 大石寺跡と鎌倉郡観音札所

上飯田バス停脇の柳明神社の境内に、行基（奈良時代の僧）作といひ伝えられている、十一面観音菩薩を本尊とする観音堂がある。



柳明神社

宝永四年（一七〇七）の「上飯田村反別差出帳」という文書によると、この観音堂は、相模国下土棚村（藤沢市下土棚）の善然寺の円慶坊という人が堂守をしていた四間四面の、小さなお堂であったようである。

地域の人々の話によると、明

治初期、

無住職に

なったと

き、本尊

十一面観

世音菩薩

像は、新

橋の観音

寺に預け

られた。その後、村に不幸な出来事がたびたび起きたために、村人たちが相談して、昭和二十七年に神社の境内に観音堂を建て、その十一面観世音菩薩像を安置したということであった。

観音堂の前に、宝暦十年（一七六〇）に造立された観音標識塔がある。「当寺本尊十一面観世音」と刻まれた塔の側面と台石に「鎌倉郡二十四番札所・大石寺」とある。その碑文から、当時は、大石寺と呼ばれ、鎌倉郡観音三十三か所の二十四番札所になっていたようである。

「西国・坂東・秩父観音百か所めぐり」だけでなく、当時は、「三浦郡観音二十三札所」「鎌倉郡観音三十三札所」などのように、郡単位の観音札所めぐりも、盛んに行われていた。



観音標識塔

吉原勉氏著『鎌倉郡三十三か所の観音を尋ねて』によると、鎌倉郡観音札所は、鎌倉市雪の下にあった新清水寺（現在、東京へ移転し、大観音寺という）を一番札所として、鎌倉市域をはじめ、横浜市栄区、戸塚区、泉区内に点在している。

泉区内には、新橋町の観音寺（二十三番札所）、上飯田町の大石寺（二十四番札所）、和泉町の正法寺（二十五番札所）、中田町の中田寺稲葉堂（二十六番札所）がある。

柳明神社は、昔、上飯田町四六〇五―二番地の伊勢山と呼ばれている所にあつた「お伊勢宮」で、神明社として地域の信仰を集めていたが、大石寺が廃寺になった後、寺のあつた場所に移転した。昭和五十年に柳明神社と改め、境内には社務所を兼



石井家の長屋門

ねた集会所も建てられ、地域の人々の交流の場となっている。神社の境内には、山王塔、六地藏像、庚申塔がある。また、神社の周辺には、江戸期に名主役を勤めた石井家の長屋門、鎌倉道沿いには道祖神塔、柳明天満宮、神奈川道、八王子道の道標を兼ねた地神塔などがあり、歴史散策に適したところである。

札所名	所在地
一番 新清水寺	(鎌倉市) 現在大観音寺 <small>(東京都中央区日本橋人形町)</small>
二番 花光院	(鎌倉市) 現在寿福寺
三番 松岸寺	(鎌倉市) 現在不明
四番 向陽庵	(鎌倉市) 現在海蔵寺
五番 正覚寺	(逗子市)
六番 報身院	(逗子市)
七番 香蔵寺	(逗子市)
八番 法花堂	(鎌倉市) 現在来迎寺
九番 建長寺	(鎌倉市)
一〇番 建長寺千手堂	(鎌倉市)
一番 東慶寺	(鎌倉市)
二番 円覚寺	(鎌倉市) 現在仏日庵
三番 かめい堂	(鎌倉市) 現在公会堂
四番 岡の堂	(鎌倉市) 現在多聞院
五番 法安寺	(栄区)
六番 こまかた堂	(栄区) 現在永林寺
七番 坂中寺	(栄区) 現在光明寺
八番 浄念寺	(港南区)
九番 さくら堂	(栄区) 現在長福寺
一〇番 円福寺	(戸塚区)
一一番 さそう堂	(戸塚区) 現在蔵田寺
一二番 朝日堂	(戸塚区) 現在清源院
一三番 観音寺	(泉区)
一四番 大石寺	(泉区) 現在観音堂
一五番 正法寺	(泉区)
一六番 稲葉堂	(泉区) 現在中田寺
一七番 蓮花寺	(戸塚区) 現在宝寿院
一八番 浅間堂	(戸塚区) 現在大運寺
一九番 玉泉寺	(栄区)
二〇番 大雲庵	(戸塚区) 現在灯明寺
二一番 正福寺	(栄区) 現在勝福寺
二二番 仁伝寺	(鎌倉市)
二三番 滋眼寺	(鎌倉市)

鎌倉郡観音三十三札所案内 (吉原勉著「鎌倉郡三十三か所の観音を尋ねて」より作成)